



堺フェニックスロータリークラブ SAKAI PHOENIX Rotary Club

D2640

▶ 四つのテスト

～言行はこれに照らしてから～

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

地区ガバナー 大澤 徳平

会長 吉川 美幸

幹事 田辺 弘樹

会報委員長 細川 浩二

▶ クラブ事務所

〒590-0021
堺市堺区北三国ヶ丘町1-1-16
C-17号TEL:072-227-4990
FAX:072-227-4991例会日:毎週木曜日 18:30～
例会場:ホテル第一堺<http://www.sakaiphoenix.com>
rotary@sakaiphoenix.com

第 717 回例会

通巻685号

平成24年6月14日

2011～2012年度No. 45

本日の例会 (第 717 回例会)

2012 年 6 月 14 日(木) 18 時 30 分

場所: ホテル第一堺 9 階

司 会 河野 強副 SAA

開会点鐘 吉川 美幸会長

ロータリーソング 「四つのテストの歌」

ロータリーの綱領

お客様紹介

出席報告 中井昭宏 SAA

委員会報告 新世代奉仕委員会中井昭宏副委員長

幹事報告 田辺 弘樹幹事

会食

会長の時間 吉川 美幸会長

卓話 田辺 弘樹幹事

SAA 報告 中井昭宏 SAA

閉会点鐘 吉川 美幸会長

次回の例会予告 (第 718 回例会)

2012 年 6 月 21 日(木) 場所: たぬき寿司

会長・幹事・4 大奉仕委員長挨拶

新旧理事役員引継ぎ

次々回の例会予告 (第 719 回例会)

2012 年 6 月 28 日(木)

定款第6条第1節休会により休会

6 月度各種お祝い

会員誕生日 小野 晃範 小林 雄志

会員記念日 犬伏 幸代

創立記念日 中井 昭宏 吉川 美幸 山田真樹



本日の卓話

田辺 弘樹 幹事

6 月 21 日今年度最終例会

例会場変更: たぬき寿司

集合時間・場所: 午後6時 ホテル第一堺前

5 月 31 日出席報告

在籍者	28 名	出席者	17 名
出席計算会員	22 名	欠席者	12 名
出席免除者	6 名	免除出席者	1 名
先々週修正出席率	80.1%	出席率	69.2 %



2011-12年度 RI会長 カルヤン・バネルジー (Kalyan Banerjee)

国際ロータリーテーマ Reach Within to Embrace Humanity

こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

[唱和]

Reach Within to Embrace Humanity

「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」

国歌斉唱

オーストラリア フィリピン共和国 日本

ロータリーソング『奉仕の理想』



SAA・出席・プログラム 中井 昭宏

本日のお客様の紹介

貝山 香純 親睦副委員長

ソフトボールニュージーランド代表 ターニー・リチャードソン様

有限会社エコ薬局 代表取締役

砂原孝史様

エフィンアーキテクトアソシエイツ

深田佳永様

中田聡公認会計士事務所 所長

中田 聡様

福井フェニックスロータリークラブ

20周年友好部委員長 パスト会長

黒川照元様

20周年実行委員長

久津見律子様

ROTEX 会長

高石 環さん

清川 小夏さん

青少年交換奨学生

エレン・ブルックスさん

米山記念奨学生

タピア・ミゲル・レオさん



米山記念奨学会 6月分奨学金授受

米山記念奨学生

タピア・ミゲル・レオさん



会長の時間

会長 吉川 美幸



皆様こんにちは。
今日は沢山のお客様にお出で頂き、賑やかに例会が出来て非常に嬉しく思っています。ローテックスの高石様、清川さま、宜しくお願ひ致します。
福井フェニックスのバスト会長の黒川様、福井フェニックスロータリークラブ 20 周年実行委員長の久津見様、遠い所、ようこそお出で下さり有難うございます。
2 月、堺フェニックスのメンバー 6 人で伺った時は、皆様から、熱烈大歓迎を受けました。あの瞬間は、ロータリーに入っていて良かったと、つくづく感じました。本当にお世話になりました。
あの時ご馳走になった水カニの美味しかったことも、一生忘れられません。今日はあの時のお返しにおもてなしをしたかったのですが、宿泊されず帰られると伺っていますので本当に残念です。
福井フェニックスさまとは、私がロータリーに入ってから間もない頃に、友好クラブの関係が始まったと記憶しています。

もうかれこれ、10 年位になると思います。
初めの頃は、堺と福井の丁度中間時点の所で、ゴルフ、1 泊旅行に一緒にさせて頂いたり、楽しい思い出が沢山あります。

今月 16 日からの旅行も楽しみにしております。
今月は、親睦月間ですが、これこそ親睦月間！と、いえる様な月になりそうです。今回の旅行も、計画からすべてお世話をおかけして、本当に有難く思っています。

私個人は、16 日に向けて、今から体調を万全にして、今年度の締めくくりに旅行がいい思い出になります様に、盛り上げたいと思っています。

今日は福井フェニックス様の 20 周年式典の打ち合わせを兼ねて来て下さったと聞いていますが、ご招待頂いている式典も、次年度の計画で、色々考えておますので宜しくお願い致します。

話は変わりますが、今日は米山奨学生ミゲル君と、ロータリー財団奨学生のエリーに奨学金をお渡し致しました。

皆さん、よく御存じの様に米山奨学金制度は、世界に誇る、日本だけの制度です。資金は、皆様からの寄付金で成り立っていますが、2640 地区の個人一人当たりの平均寄付額は、14,000 円の所、堺フェニックスは、34,000 円となっています。

私は、寄付額を競うことはないと思っていますが、こんなに突出して多いということは、米山奨学金制度が、フェニックスの会員の皆様に、深く理解して頂いているのだと思っています。

それともう一人の留学生のエリーは、今オーストラリアに行っている高瀬さんとの交換留学生です。受け入れのクラブと、ホストファミリーが、1 年間お世話をさせていただきますが、資金的な援助は、地区から出ています。

交換留学生を終了すると、性別、国籍、年齢を問わず、ROTEX のメンバーとなります。

現在このプログラムを通して海外から来日している学生や、次年度に各国へ派遣予定されている学生、現在派遣中の学生のケアを行う事になっています。

今日、卓話をして頂く事になっている、高石さん、清川さんは、この ROTEX のメンバーです。

今日は、どんな事をお話し頂けるのか、楽しみにしていますので、どうぞ宜しくお願い致します。

新世代奉仕委員会

中井昭宏副委員長



今年度の新世代のインターアクターの最終の地区行事であるインターアクト新入生歓迎会が和歌山県九度山町文化スポーツセンターで開催されます。クラブからは今年度、そして新入生が入っていますので、次年度で新

世代奉仕委員会もしくは地区役員の方は、ぜひ参加登録して下さい。またクラブ会員のみなさまで時間があると仰る方は、この機会にインターアクターと交流を深めて頂きたいと思います。ここでお願いが一つあります。昼食のお弁当を食べて帰らず、昼からの交流行事に必ず参加して下さい。よろしくお願い致します。

幹事報告

田辺 弘樹 幹事



近隣クラブ例会変更のお知らせ

堺東南 RC 6 月 14 日 (木)→台中北西扶輪社 40 周年記念式典参加 6 月 21 日 (木)→会長幹事慰労会 南海グリル ポエム館 18 時 6 月 28 日 (木)→クラブ

予定款第 6 条 1 節の規定 休会

卓話『ROTEX』

高石 環さん 清川 小夏さん



こんばんは。ROTEX2640 地区会長をしております高石と、ROTEX1 年生の清川です。本日は卓話にお招きいただき、ありがとうございます。
中井様よりお話をいただきまして、主に海外で困ったこと、Rotarian

にして欲しいことなどについて 25 分間話して欲しいというように伺ったのですが、25 分困ったことばかりを並べるのもなんですし、25 分も話せるほど問題だらけですとやはり 1 年間も滞在するのは難しいかなあ、という気も致します。

そこで本日は、困ったことなどに重点を置きつつ、私たちの留学生生活をちょっと覗いていただこうと思います。少し愚痴っぽくなってしまかもしれませんが、2 人とも派遣国が大好きで、こうして 1 年を終えてこの場に立っておりますので、どうか派遣国のことを嫌いにしないでいただきたいなあ、と思います。と同時に、私たち

の話はどうしても経験に基づくものとなりますので、すべての学生がそうであるという訳ではないということを、理解していただけたらと思います。



私は2009年から2010年度にデンマークに派遣していただきました。ここで皆様にお尋ねしたいのですが、デンマークってどこでしょう?ドイツの上の吹き出物、ここですね! この小さい半島と島々に、グリーンランドやフェロー諸島などが含まれます。どんなところだと思いますか? おそらく皆様こんな光景を思い浮かべられると思います。しかし、私にとってのデンマークはこんな感じです。ド田舎です。私が住んでいた場所は、バス停まで1km、駅まで4km、最寄りのスーパーまでバスで1時間、さらにそのバスは1日7本しか来ないという場所でした。

出国前の話に戻るのですが、出国前は本当に不安でした。向こうの学生はどんな格好で学校に行くのだろう?制服はあるのか?どんなところに住むのだろう?田舎の場合、その町を検索してみても何も出てこないことのほうが多く、自分がこれからどのようなところに住むのかかなり不安でした。1番困ったのが、カウンセラーさんと連絡が取れなかったことです。

デンマークでは派遣生は最低1週間 Rotarian の方のお宅でステイし、お互いをよく知ったうえでホストファミリーのお宅に移動するのですが、彼ともホストクラブとも連絡が取れず、正直困り果てました。出発2週間前にやっと連絡が取れたのですが、相手の顔も分からなかったのに空港で無事に会えた時は本当にホッとしました。また、ほかの派遣生の話では、乗り継ぎの便に乗れずに迷ってしまい、必死で日本人を探したという人もいたり、中には飛行機が燃えて出発が1日遅れた子もいたり、留学生にとって往路が1番危険で、不安だと思います。

さて、無事にデンマークについたはいいいものの、いろんな壁にぶち当たりました。まず、言葉がわからない。デンマーク語はおろか、英語すらも通じない! 英語圏に留学した場合、多少こちらが下手でも聞き取ってくれるのですが、英語圏以外となるとびっくりするぐらい通じず、本当に大変でした。ついて1週間ほどで学校が始まったのですが、日本とデンマークの大きな差が1つ。「留学生って、ちょっと邪魔」という雰囲気です。日本では留学生は基本的に学校のスターだと思うのですが、クラスメートも先生もほったらかしで、とりあえずグループには入れるけど、あとはほったらかしということが多々ありました。ついたばかりというもあり、あまりにも辛くてホスト先の学校の校長先生に対策をお願いしたのですが、どうにもできないと突き返され、さらに日本の Rotary にも学校にも「そんなもん。」で済まされ、正直どうしたらいいのか全く分かりませんでした。せっかく留学しに来たのに、座っているだけなんてあん

まりや!とも思いました。週のうちの何時間かだけでもいいから、留学生のための語学教室などや、留学生の、たとえば日本語などのスキルを生かせる時間があればいいのになあ、と思いました。向こうではクレジットカードを作り、お小遣いは口座に入金される仕組みでしたが、その際にも外国人登録をする際にも、日本でのハンコの代わりにサインが求められました。もちろんサインなど書いたこともなかったので、とりあえず日本語で名前を書いたのですが、後から聞いた話では漢字のみですと中国の人にまねされやすいので、アルファベットとひらがなを組み合わせるのが1番ベストだそうです。

そのほかには荷物の受け取りです。私自身は特に問題はなかったのですが、場合によって受け取り手に高い関税が掛けられることがあり、関税が払えず荷物が受け取れない、というケースも耳にしました。

留学生が直面する問題に、食べ物があります。食べ物が合わなければ、1年間はつらいというのは言い過ぎに聞こえるかもしれませんが、食べられるものが少ないだけ、留学生もホストファミリーもつらいと思います。彼らの主食はジャガイモですが、ライ麦でできた黒パンもまた、主食の一つです。これが噂のライ麦パンですが、こちらは苦手な方が多く、私自身も、そんなにおいしいものではないかなというのが正直な感想です。独特の酸味と癖があり、食べにくいものなのですが、向こうではこれはお弁当のパンに使われており、これは食べられないとつらいと思います。余談ですが、デンマークには世界一まずいグミがあります。どなたか、ご存知でしょうか? 答えは Lakris です。これは漢方の1種の甘草を煮詰めたもので、味は漢方薬のようです。とにかくまずく、苦いですがデンマーク人はこれが大好きです。食べ物はその国の歴史や文化を表しており、1番身近に感じる機会でもあるので、食べ物が口に合わないといつらいのではないかなと思います。

そして、けが。向こうではバドミントンのクラブに入っていたのですが、練習中の事故により右ひざを負傷してしまいました。病院に行ったのですが何ともないといわれ、結局そのまま1年を過ごしたのですが、帰国後病院に行くと右ひざの靱帯が1本、切れていました。



日本に来ている留学生はスピーチがあり、自分の国の話をする機会も少しはあると思うのですが、私の地区ではオリエンテーションがなく、あまり皆日本に関心がない様で、日本にいたときは Rotarian の方々に日本をアピールするように言われたのに、全然役目を果たせてない!!と焦りました。どうやったら日本について興味を持ってもらえるだろう?どうすれば、「よお中国人!」ではなく、「よお日本

人!」と言ってもらえるだろう?いろいろ考えているときに、2回目の留学生のキャンプがありました。ハロウィンの1週間前で、仮装して来い、という連絡がRotaryから来たので、そうか!と思いついたのがこれです。浴衣と、沖縄三線。有志で発表の機会があり、彼はヴァイオリンを弾いていました。私と他の日本人は涙そうそうを歌いました。このとき初めて、私たちが日本人だと知った留学生も多く、浴衣姿は本当に喜ばれました。

順調に思えた留学生活ですが、カウンセラーの一言には本当に傷つきました。彼は、「メグルはVacationに来ている。デンマーク語もへたくそだ。前の日本人のほうがよかった。このまま帰らせるぞ。」といいました。このときはカウンセラーさんの家にステイし、毎日6時前に家を出て学校に行き、デンマーク語の学校を終えて9時前に帰ってくる生活を送っていたので、全く遊んでいるつもりはなく、この一言には本当に腹が立ちました。それと同時に、何も言い返せない自分にも腹が立ちました。この一言がばねになり、後々生きてくるのですが、このときは本当に落ち込みました。

冬になると、高緯度なので本当に暗く、寒いので学校が遠いのが本当にこたえます。これは朝7時過ぎに撮ったのですが、ごらんのとおり真っ暗です。この雪の中を、雪で遅れたバスを30分待つ…風邪はひきませんでしたが本当に寒かったです。

そのバスですが、遅れるわ道に迷うわなかなか信用できず、私はよく迷子になりました。日本の交通がいかに発達しているか身をもって感じました。またバスの運転手の中にはアジア人が好きでない人も多く、停まってくれない、あるいはドアを開けてくれないこともありました。

ここで1年間の流れは終わりますが、うまく織り込むことができなかったものをピックアップしてお話します。

外国に出て、初めて学ぶものにこれがあります。“外国人”として視線を浴びる不快さ、アジア人だからという理由での、差別。アメリカ人の留学生は好きだけど、アジア人はなんかいや。すべての人がそうではないとわかっていても、いやなことがあった日にそんな人に会うと、本当に嫌な気分になります。また、ついたころはよく、名前ではなくJapaneseと呼ばれ、することなすことすべてが、“高石メグルがすること”ではなく、“日本人がすること”とみなされ、私だけの癖かもしれない、私はこう思うからすることを、「日本ではそうするのね。」と言われるのがものすごく嫌でした。きっと日本でもそうなのではないでしょうか?肌の色が違う人が電車にいると、凝視してしまいませんか?留学生を1人の学生ではなく、“アメリカ人、ヨーロッパ人の学生”と見てしまっていないでしょうか。何気なくしてしまっている自分の行動が、決して嬉しいものではないということを感じました。

ホストファミリーは留学生にとって1番身近な現地人であり、留学生生活を左右する大きな要素です。私がお願いしたいのは、なるべくRotarianのお宅を避けてほしい、ということです。ROTEXをしていると問題が起こっていても言い出せない、信じてもらえないというケースをよく耳にします。

また、これも問題です。その家庭がどう見てもおかしくても、これが日本の普通なのかな、ほかもそうなのかなと思ってしまう。1つ例を出すと、ご飯を作ってもらえない、誕生日を一人で過ごし、パ

ソコンを使うのは全面禁止、という家にステイしていた学生ですが、これがこの国の普通なのか、と思ってしまい言い出せないということがありました。

いろいろな問題がありましたが、このプレゼンを書き始めた当初は何も思いつかず、何を話せばいいのかわかりませんでした。よく考えてみると、毎日悩んだり落ち込んだりしていたのですが、時間が、すべてをいい経験に変えてくれたように思います。どんなつらいことも、過ぎてしまえば懐かしい思い出となっています。

Rotaryの派遣生の役割は“親善大使”となり、世界と日本をつなぐことです。親善大使ってなんでしょう?私は、“派遣国を好きになること”ではないかと思っています。学生にいろんな経験を積んでもらい、その国を好きになってもらいたい。それが、平和の構築にもつながるのではないかな、と考えます。



ここで、ROTEXについて少しご紹介いたします。ROTEXとは、留学を終えた学生で構成される組織で、派遣候補生、派遣生、留学生のトータルサポートの役割を担っています。今年は奈良への遠足、2地区合同スピーチコンテスト、4地区合同嵐山遠足などを通じ、留学生と候補生の交流の場を設け、様々な体験をしていただきました。また、4月にありました札幌での青少年会議では、他地区のROTEXと「留学の必要性」について意見をぶつけ合い、留学の必要性について再度、確認しました。様々な意見に触れ、新しい視点を切り開くことができ、大変有意義なものとなりました。

まだまだ未熟なROTEXですが、皆様のご支援のもと、このような活動をさせていただいております。これからも温かいお力添えをお願いいたします。本日はどうもありがとうございました。

Tack så mycket, Mange tak!!!



にこにこ報告

中井 崇嗣 副SAA

🍌 こんにちは。福井フェニックス RC から私達の20周年記念行事に皆様の御参加をお願いしたく2人でやって参りました。来年4月7日(日)福井でお待ちしています。どうぞ皆様でおいでください。
福井フェニックス RC 久津見律子様、黒川照元様

🍌 今日は沢山のお客様において頂いて活気溢れる例会になりました。清川さん、高石さん、卓話有難うございました。今週から始まった会員の欠席理由の発表とっても良いですね。一体感が生まれます。
吉川 美幸 会長

🍌 黒川様、久津見様、遠路ようこそおいで下さいました。福井では美味しい蟹をお腹いっぱいありがとうございました。中田様、砂原様、首を長くして待っていました。本日はごゆっくりお楽しみください。
石田 得子会長エレクト

🍌 福井フェニックス RC 黒川様、久津見様、ようこそ！お久しぶりです。ごゆっくりしてください。

片木 修直前会長

🍌 大勢のお客様をお迎えして賑やかな例会になりました。皆様、ありがとうございます。又、御祝を頂き感謝です。

大伏 幸代会員

🍌 福井フェニックス RC の皆様、新入会予定のお2名様、ニュージーランドからソフトボールプレーヤーのターニー・リチャードソン様、ようこそお越し下さいました。私は今年で77歳になります。

小野 晃範会員

🍌 本日は沢山のお客様をお迎えできにぎやかな例会となりました。砂原様、中田様、7月を楽しみにしております。

貝山 香純会員

🍌 吉川会長、田辺幹事、ラスト理事会本当にお疲れ様でした。思わずこみ上げてくるものがありました。慰労会やりましょう！もちろん盛大に!!

河野 強会員

本日最後の理事会が終わりました。沢山のお客様をお迎えし、にぎやかな例会を楽しみたいと思います。

田中 範子会員

🍌 今日は沢山のお客様にお越し頂きありがとうございます。いつもに増してにぎやかな例会となり大変嬉しく思っております。

内藤絵梨奈会員

🍌 ターニー、深田様、砂原様、中田様、黒川様、久津見様、高石様、清川様、ようこそ堺フェニックス RC へ。

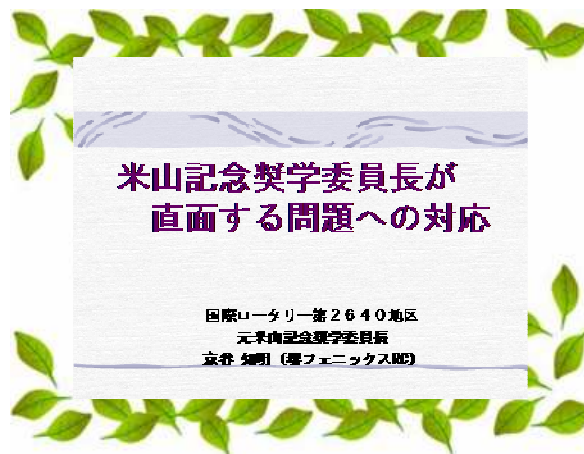
中井 昭宏会員

🍌 今日は沢山の皆様にお越し頂き楽しい例会になりました。ありがとうございます。

中井 崇嗣会員

🍌 楽しい仲間。

田辺 弘樹幹事



6月7日開催 公益財団法人米山記念奨学会

理事会に出席して

公益財団法人 米山記念奨学会
理 事 米田 眞理子



6月7日(木)早朝から、公益財団法人移行後、第2回目の理事会に出席のため上京しました。移行後は委任状でなく必ず出席することが求められます。

今回の理事会は、寄付学減少で採用人

数が800名から700名に変わったこと。久しぶりの大幅な残念な減少です。2640地区は採用人数3人減少が、3年間の平均を取って2名減少にとどまったこと。海外からの応募枠は、各地区に1名、海外からの推薦枠は海外学友会推薦で3名。地区大会でのホームカミング制度の活用等々、熱心な討議がなされました。

我クラブの京谷さんは、次年度の全国地区米山記念奨学委員会委員長の講師として8日も上記のテーマで講演いたします。ロータリーの友委員も全国の委員ですので、活性化された我がクラブから多くの会員が全国デビューして欲しいと願っています。帰路新大阪から例会場へ駆けつけて、福井PRCの久津見様・黒川様にお目にかかれることができ、良かったです。我がクラブより4年先輩の福井PRCが20周年を迎えられるのは、本当にうれしい事です。ともに、友情を育みましょう。

国際ロータリー第 2640 地区 ローターアクト 2011-2012 年度 地区大会

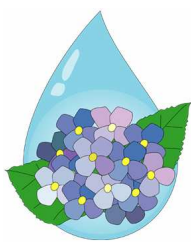
第 2640 地区は今年で 30 周年を迎えます。30 年といえば
ローターアクトで言えば卒業の年です。

テーマは“Re-Start”「次への新しいスタート」

日時：2012 年 6 月 10 日（日）

場所：リーガロイヤルホテル堺

クラブからの参加者：米田 眞理子直前ガバナー 岡田 正
一地区副代表幹事 上田 俊夫次期地区代表幹事



インターアクトクラブ 2011～2012 年度新入生歓迎会 次期新世代奉仕委員会 副委員長 貝山 香純

6 月 10 日 和歌山県九度山町文化センターにて行われた新
入生歓迎会に岡田会員、中井崇嗣会員、内藤会員とともに
に参加しました。約 80 名のインターアクターが参加。



当クラブで提唱している初芝立命館高校インターアクト
クラブからは 3 名のインターアクターと顧問の玉井先生
が参加されました。



午前中はインターアクトクラブの活動内容の説明があり
ました。



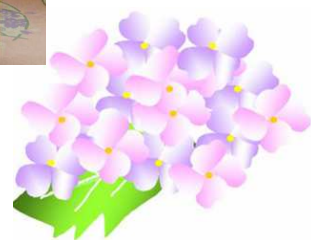
昼食時間は緊急医療体制委員会委員として、体調不良を
訴えるインターアクターの問診を行いました。『睡眠不足
と過度の緊張によるふらつきと倦怠感。』認め、仮眠をと
るよう促し、その旨を顧問代表の山本先生に申し送りい
たしました。その後数回様子確認実施、異常認めず症状
改善したため会に再参加していただきました。午後は紀
州産のヒノキを使用した積み木にて、グループ毎に作品
制作を行いインターアクター同士、交流を図っていまし
た。





国際ロータリー第 2660 地区・第 2650 地区 第 2640 地区 合同 ROTEX スピーチコンテスト

受入来日学生が、この 9 ヶ月間の日本での体験や学んだことを日本語でスピーチし、エレンブルックスさんはみごと優勝しました。



青少年派遣奨学生 高瀬 理沙さん

ホームステイ先が変わり、yates 氏宅に滞在しています。ここは大きな農場をお持ちで、牛の赤ちゃんの誕生を見ることが出来たそうです。



～ 青少年交換奨学生たち ～

